

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：北海道の昆虫相 ILAS Seminar :Insect fauna in Hokkaido			担当者所属 職名・氏名	フィールド科学教育研究センター 准教授 小林 和也 フィールド科学教育研究センター 助教 杉山 賢子		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール (対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	8 (8) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 未定	教室	シラバス参照			使用言語	日本語
キーワード	生態学 / 昆虫 / 林業 / フィールド調査 / データ解析						
[授業の概要・目的]							
フィールド科学教育研究センターの北海道研究林標茶区（川上郡標茶町）を中心に、北海道の森林における昆虫相と林業のかかわりについて学ぶ。							
[到達目標]							
北海道の森林についての基礎知識を理解し、昆虫と草本を中心とした動植物の同定・調査手法を修得し、北海道における森林施業について知ること、データ解析の基礎を習得することを目標とする。							
[授業計画と内容]							
1.授業ガイダンス（京都） 説明会実施日時・場所：4月～5月の金曜5限目に農学部総合館にあるフィールド研会議室（N283）で行う予定である（状況に応じて遠隔講義となる可能性がある）。日程が確定次第、KULASISに登録されたメールアドレス宛に連絡する。 2.北海道の森について学ぶ 3.動植物の名前の調べ方を覚える 4.昆虫・草本の調査法を学ぶ 5.得られたデータを解析する 2～5は、夏休み期間中に京都大学フィールド科学教育研究センター北海道研究林（標茶区）において行う。各テーマについて、講義と野外実習を行う。また実習期間中に野外実習の成果をとりまとめ、レポートの作成を行う。 解散・集合場所はJR釧網線の標茶駅を予定している。 8/6夕方集合、8/10朝解散の予定。実習前後の宿泊も可能（事前に要相談）。詳細は京都で開催する授業ガイダンス時に連絡する。							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
講義と野外実習、レポート作成への積極性や知識の習得状況（レポート）により総合的に判断する。詳細は授業中に説明する。							
----- ILASセミナー：北海道の昆虫相(2)へ続く↓↓↓ -----							

ILASセミナー：北海道の昆虫相(2)

[教科書]

授業資料（プリント）を配布する。

[参考書等]

（参考書）

『札幌の昆虫』（北海道大学図書刊行会，2006年）ISBN:978-4832913912（実習中は貸し出し可能）

『昆虫生態学』（朝倉書店，2014年）ISBN:978-4254420395

大原 昌宏; 澤田 義弘 『パラタクソノミスト養成講座：昆虫（初級）目までの分類後同定編』（北海道大学総合博物館, 2012）（<https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/handle/2115/59547>）

[授業外学修（予習・復習）等]

現地での実習前に北海道の自然に関して予習しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

- ・ 集合場所までの旅費は受講生負担になります
- ・ 京大からの交通費は片道およそ3万円～（経路や航空券の種類などにより変動）です
- ・ 現地にかかる費用はおよそ8000円（宿泊費食費等実費）です
- ・ 参加希望者は学生教育研究災害保険（学研賠つき）に必ず加入してください
- ・ 気温が京都より10℃くらい低いことを考慮して防寒対策をしてきてください
- ・ 集中講義で採点報告日頃に実施するため、成績報告が遅れる可能性があります

[主要授業科目（学部・学科名）]